

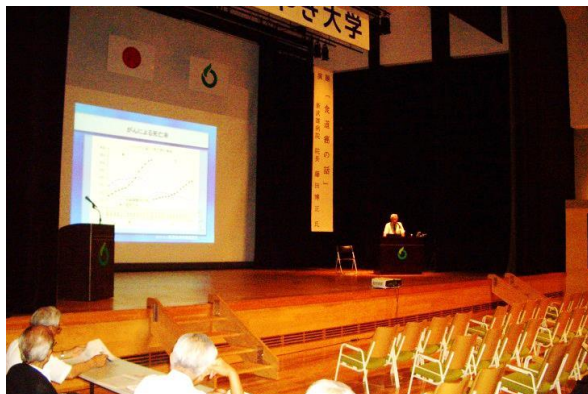
# 令和元年度「嬉野市かがやき大学」第5回講演会

令和元年8月9日(金) 9:30~10:30

於: 嬉野市社会文化会館(リハティ)

講師 新武雄病院 院長 藤田 博正 氏

演題 「食道癌の話」



演題「食道癌の話」について、聴衆の方々も自身の健康に関心が高く、多数の来場者がありました。昨年度末のアンケート結果でも聴講を希望する領域では、「健康」が第1位でした。藤田様の真摯で情熱溢れる語り口に聴衆の皆さんも惹きこまれ、これからの健康への留意点を漏らさないように聴かれているようでした。

現在の課題は、新聞やテレビのニュースからも、少子高齢化に伴う健康寿命や認知症、年金問題、高齢者の免許返納などがあるようです。特に、二人に一人が罹ると言われる「癌」については、高齢者に限らず誰もが大きな不安を抱いていることです。

食道癌の原因として、酒とタバコ、そして、食べ物と習慣に関しては、果物と野菜が少ない。塩分の多い食事、早食い、歯が悪い、肥満などがある。その予防としては、原因の裏返しを行うこと、よく噛んでゆっくり食べる、人間ドックに行くことなどには改めて納得されているようでした。

食道癌の自覚症状として、嚥下障害、つかえ感、体重減少などがあるが、ただし、早期食道癌では無症状であることに深く頷いておられるようでした。普段の食生活習慣の重要性を他の多くの病気も含めて再認識されたことでしょう。

また、食道癌の治療について、進行度と治療方針、再建臓器、胸腔鏡手術と開胸術、ロボット手術、化学放射線療法、そして、生存率と具体的にご説明いただきました。聴衆の皆さんも我が身に照らして、一心不乱に聞き入っておられました。改めて、健康の有難さや普段の健康管理がいかに重要かを考えておられるようでした。このことが、今後のさらなる介護の問題や医療費等を抑制する面にも繋がることでしょう。

健康寿命を延ばし、健康な生活を楽しむために、日々の食事、運動、文化面などでもさらに留意しながら過ごすことが肝要であると思われました。

